

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成20年4月17日(2008.4.17)

【公開番号】特開2002-253433(P2002-253433A)

【公開日】平成14年9月10日(2002.9.10)

【出願番号】特願2001-59367(P2001-59367)

【国際特許分類】

A 4 7 J 47/04 (2006.01)

A 4 7 B 88/00 (2006.01)

B 6 5 D 51/24 (2006.01)

B 6 5 D 81/28 (2006.01)

B 6 5 D 85/50 (2006.01)

【F I】

A 4 7 J 47/04 A

A 4 7 B 88/00 Q

B 6 5 D 51/24 Z

B 6 5 D 81/28 B

B 6 5 D 85/50 A

【手続補正書】

【提出日】平成20年2月28日(2008.2.28)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【書類名】明細書

【発明の名称】虫のつかない米びつ

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

木材で形成し上方が開口した箱状の米びつ本体と、該米びつ本体の開口を閉蓋する蓋とを備えた米びつにおいて、前記米びつ本体と蓋との接触面が直角に交わる少なくとも 2 面で構成すると共に、米びつ本体の内部の上方辺に人体に害のない防虫剤を入れる防虫剤収納部を備えたこと特徴とする虫のつかない米びつ。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、虫のつかない米びつに関するものであり、更に詳細には、米びつに米を長期保管してもおいしく食すために、虫の侵入を防ぐと共に、虫も発生することがない米びつに関するものである。

【0002】

【従来の技術】

昔から米びつには木材が使用されてきました。現在では金属製や、プラスチック製の簡易米びつができてきました。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】

金属製やプラスチック製は湿度の調整や温度の調整ができにくく、短期間で中の米の味が悪くなります。また、一般に木製でも長期間保管しますとコクゾウ虫等が湧いてきます。例えば、梅雨時期から夏にかけては 2 ヶ月程度で虫が湧いてきます。また、分量が計れ

る形式の米びつにおいては、これらの隙間に米の粒が混入して米びつの内部を汚す原因にもなります。木材製の米びつは開閉するドア、引き出し部に米やゴミがつまって隙間がいたり、木材の変形によりわずかな隙間ができたりします。これらの隙間から小さな虫が米びつ内に侵入することがありました。

【 0 0 0 4 】

【課題を解決するための手段】

上記課題を解決するために、本発明の虫のつかない米びつは、木材で形成し上方が開口した箱状の米びつ本体と、米びつ本体の開口を閉蓋する蓋とを備えた米びつにおいて、米びつ本体と蓋との接触面が直角に交わる少なくとも2面で構成すると共に、米びつ本体の内部の上方辺に人体に害のない防虫剤を入れる防虫剤収納部を備えたものである。

【 0 0 0 5 】

【発明の実施の形態】

本発明の虫のつかない米びつの実施の形態について図面を参照して説明すると、図1は本発明の虫のつかない米びつの防虫剤収納部をコーナーとする実施例の斜視図であり、図2は本発明の虫のつかない米びつの防虫剤収納部を引き出しとする実施例の斜視図であり、図3は本発明の虫のつかない米びつの防虫剤収納部をボックスとする説明例であり、図4は本発明の虫のつかない米びつの防虫剤収納部を貼付け網とする実施例の底面図であり、図5は本発明の虫のつかない米びつの防虫剤収納部を取付具とする実施例の説明図であり、図6は本発明の虫のつかない米びつの全体側面図であり、図7は本発明の虫のつかない米びつの要部拡大説明図である。

【 0 0 0 6 】

本発明は、虫のつかない米びつに関するものであり、更に詳細には、米びつに米を長期保管してもおいしく食すために、虫の侵入を防ぐと共に、虫も発生することがない米びつに関するものであり、木材で形成し上方が開口した箱状の米びつ本体1と、該米びつ本体1の開口を閉蓋する蓋10とを備えた米びつにおいて、前記米びつ本体1と蓋10との接触面が直角に交わる少なくとも2面で構成すると共に、米びつ本体1の内部の上方辺に防虫剤2を入れる防虫剤収納部（コーナー3、引き出し6、ボックス7、貼付け網8、取付具9）を備えたこと特徴とするものである。

【 0 0 0 7 】

即ち、精米した米の保管には適度な通気性が必要である。米びつに隙間があると虫が侵入します。また、精米した米を長期間保存すると虫が発生してきます。虫の侵入を防ぐには隙間を作らないことと内部に虫の嫌いなものを入れることである。虫の発生を押さえるには虫が成長しにくいものを内部に入れることである。また、虫の発生を押さえるためには、虫の嫌いな防虫剤2の使用がある。

【 0 0 0 8 】

本発明の虫のつかない米びつの米びつ本体1は木材を使用したもので、木材は、桐、ヒノキ、ケヤキ等でも良いし、合板でも良い。また、木材を主にした圧縮材や、寄せ木等でも良い。また、蓋部10を別材料、例えばプラスチックを用いても良い。

【 0 0 0 9 】

次に、蓋部10に虫の侵入しやすい隙間を作らず、内部に防虫剤2を入れる防虫剤収納部をコーナー3、引き出し6、ボックス7、貼付け網8、または、取付具9として備えたものである。

【 0 0 1 0 】

そして、防虫剤2としては人体に害のない、にんにく、タカの爪、ウコン、月桂樹、ハーブ、ショウガ等が好適である。また、これらを混合で入れても良く、生でも乾燥したものでエキスでも良い。

【 0 0 1 1 】

【実施例】

次に、図1に図示する実施例は、木材製の米びつ本体1に防虫剤2を入れるための防虫剤収納部としてコーナー3を設けたもので、米4の出し入れに邪魔にならないようにコー

ナー 3 は米びつ本体 1 の上部に設置してある。また、防虫剤 2 の効果が発揮されるようにコーナ 3 の底部には穴が空けてある。さらに、湿気がたまりにくいように米びつ本体 1 の底部に通気孔 5 を備えている。

【 0 0 1 2 】

次いで、図 2 に図示するものは、木材製の米びつ本体 1 に防虫剤 2 を入れるための防虫剤収納部として引き出し 6 を設けたもので、米 4 の出し入れに邪魔にならないように米びつ本体 1 の上部に設置してある。引き出し 6 であるので蓋 10 を開けずに手軽に防虫剤 2 を交換できる。また、湿気がたまりにくいように米びつ本体 1 の底部に通気孔 5 を備えている。

【 0 0 1 3 】

更に、図 3 に図示するものは、木材製の米びつ本体 1 に防虫剤収納部として網材等により箱外部から防虫剤 2 を交換できるボックス 7 を設けたものである。

【 0 0 1 4 】

更には、図 4 に図示するものは、木材製の米びつ本体 1 に防虫剤収納部として網材等により防虫剤 2 を入れる貼付け網 8 を付けたものである。貼付け網 8 の取り付け方法としては、粘着剤、粘着テープ、マジックテープ（登録商標）等固定されれば良い。

【 0 0 1 5 】

次に、図 5 に図示するものは、防虫剤収納部として蓋 10 に取付具 9 を付けて、防虫剤 2 を入れる網袋等を簡単に取り付けられるようにしたものである。取り付け具はクリップ、マジックテープ等の取付、取り外しが可能なものであれば良い。

【 0 0 1 6 】

そして、図 6、図 7 に図示するものは、米びつの蓋 10 を示しており、図 6 に図示するように、蓋 10 の開閉は取っ手 11 を使い、通常は片面開きとし、内部清掃等時は簡単に全面を開くことができる。蓋 10 の全周は図 7 に図示するように、蓋 10 と米びつ本体 1 の接触面が直角に交わる 2 面で構成し、外部からの虫の侵入を防止している。

【 0 0 1 7 】

つまり、図 1 から図 5 に図示する実施例の防虫剤収納部と、図 6 及び図 7 に図示する蓋 10 を組み合わせることで、米びつ本体 1 の内部は防虫剤 2 で、外部からの侵入は蓋 10 、および内部に収納している防虫剤 2 により防ぐことができるため、高い防虫効果が期待できます。

【 0 0 1 8 】

【 発明の効果 】

木材製の米びつは、適度な湿度を保つ効果があるため、精米した米が傷みにくく、蓋の構造により虫が内部に侵入しずらく、防虫剤の使用により長期間の保存でも虫が付きにくい。このため、半年程度の長期間保存に耐えられる。木材の中でも、特に桐を用いると、違和感なく人目につく場所にも置きやすい。少量の消費でも最後まで美味しく食べられ、一人暮らしの人等にも便利な実用性の高い発明である。

【 0 0 1 9 】

【 図面の簡単な説明 】

【 図 1 】

図 1 は本発明の虫のつかない米びつの防虫剤収納部をコーナーとする実施例の斜視図である。

【 図 2 】

図 2 は本発明の虫のつかない米びつの防虫剤収納部を引き出しとする実施例の斜視図である。

【 図 3 】

図 3 は本発明の虫のつかない米びつの防虫剤収納部をボックスとする説明例である。

【 図 4 】

図 4 は本発明の虫のつかない米びつの防虫剤収納部を貼付け網とする実施例の底面図である。

【図 5】

図 5 は本発明の虫のつかない米びつの防虫剤収納部を取付具とする実施例の説明図である。

【図 6】

図 6 は本発明の虫のつかない米びつの全体側面図である。

【図 7】

図 7 は本発明の虫のつかない米びつの要部拡大説明図である。

【符号の説明】

- 1 ... 米びつ本体
- 2 ... 防虫剤
- 3 ... コーナー
- 4 ... 米
- 5 ... 通気孔
- 6 ... 引き出し
- 7 ... ボックス
- 8 ... 貼付け網
- 9 ... 取付具
- 10 ... 蓋
- 11 ... 取っ手